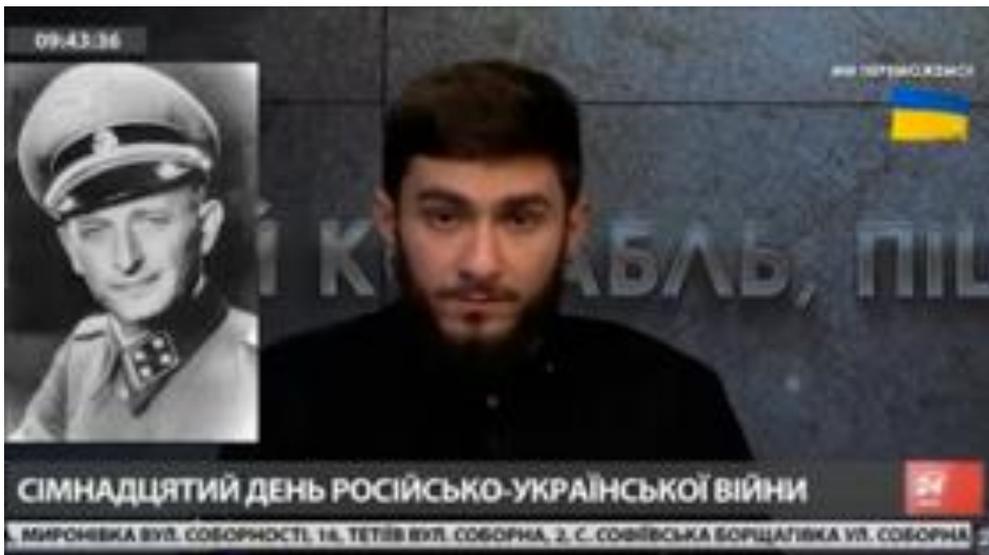


ウクライナ TV のホストが、子供を殺せと呼びかけ、ナチ戦犯を引用

<https://www.rt.com/russia/552019-ukraine-presenter-nazi-genocide/>

RT

March 15, 2022



「チャンネル 24」のホスト Fakhrudin Sharafmal が、ナチの将校アイヒマンを引用——

March 14, 2022 @Twitter/screenshot

ウクライナ TV のホストが、ナチ戦犯アドルフ・アイヒマンの言葉を利用して、ロシア人へのジェノサイドと、彼らの子どもを殺すことを奨励。

ウクライナTVホストの F・シャラフマリは、彼の同胞に呼びかけ、子どもたちを殺すことによってロシア国家を破壊し、「少なくとも、一人が一人のモスカリを殺すこと」——ロシア人の蔑称——を奨励した。

シャラフマリの「チャンネル 24 モーニング・ショー」への登場は、火曜日に、話題となったが、それは「ロシア-ウクライナ戦争 17 日目」と、キャプションにはあり、日付は日曜日のはずである。彼は、親友の一人が殺されたので、感情的になっていると言いながら、あの悪名高い SS 将校を引用して、ジェノサイド（人種皆殺し）の要求へと議論を押し進めた。

「私はあえてアドルフ・アイヒマンを引用することにする。彼は、一つの国家を破壊するためには、まずその子供たちを破壊しなければならない、と言った。なぜなら、もしその両親を殺すなら、子どもたちは成長してから復讐をするだろう。子どもたちを殺しておけば、彼らは決して成長することはなく、その国は消えるだろう」と、シャラフマリは言い、アイヒマンの写真がスクリーンに映し出された。

アイヒマンは長老の SS 将校であり、第二次大戦では、ナチの死のキャンプを創り出すことで、重要な役割を演じた。彼はラテンアメリカへ逃亡したが、捕らえられ、1960年イスラエルで裁判を受け、戦争犯罪によって死刑を宣告された。

ジュネーブ会議は、ウクライナ兵に、子どもたちを殺すことを禁じたが、シャラフマリは続けて、自分はそんなものに縛られないと言った。「だから、ロシア人を殺す機会があれば、私は断固としてそれをやる。あなた方は、私をナチと呼んでいるのだから、私はアドルフ・アイヒマンの方針に固執する。そして力の限りを尽くして、あなたとあなたの子どもたちが、この地上で、決して生きることがないようにする」と、彼はつけ加えた。

「わかってもらいたいことは、ウクライナ人の勝利が問題であって、平和ではないということだ。我々は勝利を求めている。そしてもし我々が、あなた方の家族全体を殺さねばならないとしたら、私が真っ先にやるということだ」と、シャラフマリは言った。「そして、ロシアという国も、ロシア人も、この地球上に再び現れないことを、願うということだ。」

「もし、モスカリどもを撲滅し、虐殺し、殺し、絞め殺す機会が、ウクライナ人にあるならば——現在、それが最も願われているのだが——私は、すべての人が貢献して、少なくとも一人が一人のモスカリを、殺すことを願っている」と、彼は結論した。

シャラフマリの背景にあるのは、ウクライナ語で「ロシア軍艦 fuck off! (消えろ)」という言葉の示すものである。これは、Snake Island にいた部隊の言った言葉で、キエフの主張では、彼らは英雄的に死んだが、やがて全員が生きて立ち上がり、ロシア海軍に降伏したと言われる。<https://www.rt.com/news/550717-snake-island-guards-surrendered/>

「チャンネル 24」は、キエフを本拠としているが、それは TRK Lux メディア複合企業に所有され、ウクライナ西部の Lvov 市長、Kateryna Kit-Sadova と、彼女の夫 Andrey に支配されていると言われる。

[訳者 Greatchain 注]

このウクライナの過激派の、自ら語る、ロシアとロシア人に対する復讐心は、ぞっとするほど異常である。最後に説明されている、Snake Island に関する出来事があったとしても、これほどの怨念を持つ者たちが、ロシアとロシア人を、常時、狙っているのだとすれば、プーチン大統領としても、戦うしかないだろう。ここに、話し合いなどというものが成立するはずはなく、これは相手を毒虫のように始末するか、始末されるかしかなかろう。

恐ろしいのは子供に対する呪詛である。どんな歴史上の戦争でも、特に子供を標的にするというのは（源平合戦の時代は別として）、まれであろう。アイヒマンの論理に倣ったとこの男は言っているが、復讐がそこまでいけば、それは精神異常でしかない。しかしアメリカのやり方について insane (異常)という言葉はよく聞かれ——彼らの十八番 false flag はすべて insane である——我々のこの時代は、子どもの受難の時代だとよく言われる。

そう考えると、今、**墮落したこの地球文明**で、最も狙われているのは子どもであることに気が付く。それは戦場での標的だけの話ではない。メディアがひた隠しにする「子供取引き」や、「文化」とさえ言われるペドフィリアがそうであり、子どもの「合意年齢」を下げようと言う者たちも、歪んだ子ども性教育や、妊娠中絶の奨励のような運動もそれである。そして最後に、効果はなく、有害報告しかないワクチン注射を、5歳の子どもにまで実施しようとする運動も、その延長線上にある。

この戦争を仕掛けたのはプーチンなのだから、プーチンが一番悪いという考え方でなく、誰かもっと悪い「異常な」者が、背後にいるに違いないという考え方が、できるようにならねばならない。平和は破らなければならないこともあるということを、知っておかなければならない。この世界は誰かが解答を与え、それに乗っていればよい、というものではない。自分で努力して考えなければ、誰も教えてくれないようになっている。